

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月11日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 プラコー

コード番号 6347 URL <http://www.placo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 秦 範男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 権田 和睦

TEL 048-798-0222

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,151	△4.1	44	76.2	33	229.6	24	244.0
23年3月期第2四半期	1,201	15.9	25	—	10	—	7	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	0.91	—
23年3月期第2四半期	0.26	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,659	—	109	—	—	6.6
23年3月期	1,480	—	89	—	—	6.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 109百万円 23年3月期 89百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,600	1.6	117	31.9	87	44.2	77	71.2	2.84

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	27,152,585 株	23年3月期	27,152,585 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	45,093 株	23年3月期	45,093 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	27,107,492 株	23年3月期2Q	27,108,709 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 重要な後発事象	8
5. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災と原発事故で発生したサプライチェーンの寸断による生産の混迷、欧州経済破綻を起点とする世界金融市場の混乱による世界経済の不安や円高の進行など、先行き不透明感が拭えない状況が続いております。

当社の関係するプラスチック加工業界及び環境関連業界においては、一部に新機能、新分野商品の市場展開はあるものの、円高の進行による景気の低迷、自動車関連企業の新興国への工場移転が加速するなど、全体的には厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況下、営業面では、引続いて新分野商品及び新規の受注に向けて全社挙げて活動いたしました。また、生産面では、海外生産の増加によるコスト低減の推進、生産性の向上に努め、利益率が改善されました。固定費についても更なる削減を進め実効をあげることができました。

以上の結果、当第2四半期累計期間においては、売上高は受注の減少の影響もあり、11億5千1百万円と前年同四半期と比べ4千9百万円減(前年同四半期比4.1%減)となりました。利益面につきましては、売上高は減少したものの、コスト削減及び固定費の減少などにより損益分岐点が改善されたことから、営業利益4千4百万円(前年同四半期は営業利益2千5百万円)、経常利益3千3百万円(前年同四半期は経常利益1千万円)、四半期純利益2千4百万円(前年同四半期は四半期純利益7百万円)となり、前年同四半期に比べ利益が大幅に改善されました。

事業部門ごとの営業概要は次のとおりであります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前事業年度末に比べて28.4%増加し、914百万円となりました。これは、現金及び預金が188百万円、売掛金及び受取手形が29百万円それぞれ増加し、前渡金が13百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて2.8%減少し、740百万円となりました。これは、有形固定資産が減価償却などにより10百万円、投資有価証券が時価の下落により9百万円それぞれ減少したことなどによります。

繰延資産は、前事業年度末に比べて31.6%減少し、4百万円となりました。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて12.1%増加し、1,659百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて2.4%増加し、910百万円となりました。これは、短期借入金が12百万円、前受金が72百万円増加し、支払手形及び買掛金が49百万円、未払法人税等及び未払消費税が10百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて27.4%増加し、639百万円となりました。これは、長期借入金が142百万円増加したことなどによります。

この結果、負債は前事業年度末に比べて11.4%増加し、1,549百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べて22.7%増加し、109百万円となりました。これは、第2四半期純利益を24百万円計上したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べて1億8千8百万円増加し、3億2千4百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した現金及び現金同等物は4千1百万円となりました。これは主に税引前四半期純利益2千7百万円の計上や売上債権4千2百万円の減少があったものの、仕入債務3千5百万円減少した結果によるものであり、前年同四半期と比べると5千7百万円増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した現金及び現金同等物は7百万円となりました。これは主に、長期前払費用の取得による支出5百万円によるものであり、前年同四半期と比べると5百万円減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した現金及び現金同等物は1億5千4百万円となりました。これは長期借入による収入2億5千万円及び短期借入による収入7千9百万円がありましたが、短期借入金返済額1億1百万円及び長期借入金の返済による支出7千2百万円によるものであり、前年同四半期と比べると1億8千2百万円増加となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

原価差異の繰延処理

操業度等の変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産(その他)として繰延べております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	136,386	324,528
受取手形及び売掛金	397,912	427,712
製品	69,511	24,047
仕掛品	47,083	98,586
原材料及び貯蔵品	24,276	19,998
その他	42,112	24,839
貸倒引当金	△4,875	△4,760
流動資産合計	712,407	914,952
固定資産		
有形固定資産		
土地	508,000	508,000
その他(純額)	159,976	149,976
有形固定資産合計	667,976	657,976
無形固定資産	12,626	11,258
投資その他の資産		
その他	93,432	86,690
貸倒引当金	△12,427	△15,607
投資その他の資産合計	81,004	71,082
固定資産合計	761,607	740,316
繰延資産	6,434	4,400
資産合計	1,480,450	1,659,670
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	479,275	430,151
短期借入金	233,694	246,464
前受金	93,280	165,968
未払法人税等	8,747	5,252
引当金	11,808	10,197
その他	62,210	52,547
流動負債合計	889,016	910,580
固定負債		
長期借入金	309,281	451,707
退職給付引当金	101,275	97,436
繰延税金負債	88,558	88,558
その他	2,948	1,702
固定負債合計	502,063	639,403
負債合計	1,391,079	1,549,984

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,332,945	1,332,945
資本剰余金	131,387	131,387
利益剰余金	△1,492,895	△1,468,357
自己株式	△5,168	△5,168
株主資本合計	△33,730	△9,192
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,543	△11,765
土地再評価差額金	130,645	130,645
評価・換算差額等合計	123,101	118,879
純資産合計	89,370	109,686
負債純資産合計	1,480,450	1,659,670

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,201,039	1,151,889
売上原価	915,702	857,555
売上総利益	285,336	294,333
販売費及び一般管理費	259,879	249,488
営業利益	25,457	44,845
営業外収益		
受取利息	1,423	1,152
物品売却益	1,047	631
その他	2,087	2,238
営業外収益合計	4,558	4,022
営業外費用		
支払利息	12,395	10,442
手形売却損	5,785	2,914
その他	1,677	2,033
営業外費用合計	19,858	15,391
経常利益	10,156	33,476
特別利益		
その他	102	—
特別利益合計	102	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	5,959
その他	257	132
特別損失合計	257	6,092
税引前四半期純利益	10,001	27,384
法人税、住民税及び事業税	2,867	2,846
法人税等合計	2,867	2,846
四半期純利益	7,134	24,537

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	10,001	27,384
減価償却費	13,935	13,509
引当金の増減額(△は減少)	610	△2,385
受取利息及び受取配当金	△1,872	△1,664
支払利息	12,395	10,442
売上債権の増減額(△は増加)	△19,630	42,887
たな卸資産の増減額(△は増加)	△101,272	△1,760
仕入債務の増減額(△は減少)	117,622	△35,778
その他	△27,137	2,576
小計	4,651	55,211
利息及び配当金の受取額	2,238	1,664
利息の支払額	△16,095	△9,331
法人税等の支払額	△6,616	△5,693
営業活動によるキャッシュ・フロー	△15,821	41,850
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,329	△321
長期前払費用の取得による支出	△2,280	△5,826
その他	2,132	△1,562
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,477	△7,710
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△73,381	△22,000
長期借入れによる収入	186,245	250,000
長期借入金の返済による支出	△140,003	△72,804
自己株式の取得による支出	△4	—
その他	△1,143	△1,195
財務活動によるキャッシュ・フロー	△28,286	154,000
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△46,585	188,141
現金及び現金同等物の期首残高	85,763	136,386
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,177	324,528

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

当社はプラスチック成形機事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

II 当第2四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

当社はプラスチック成形機事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

前第2四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1 配当に関する事項

該当事項はありません。

2 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1 配当に関する事項

該当事項はありません。

2 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

1 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	697,678	△17.2
ブロー成形機事業	203,609	△39.1
リサイクル装置事業	22,700	△45.4
合 計	923,987	△24.2

(注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 受注実績

当第2四半期累計期間における受注実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	642,131	△21.8	423,960	△22.5
ブロー成形機事業	385,076	25.0	212,677	57.4
リサイクル装置事業	82,410	9.9	53,110	4.0
合 計	1,109,617	△7.9	689,747	△5.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	698,753	△0.9
ブロー成形機事業	246,459	△16.0
リサイクル装置事業	31,580	△20.0
メンテナンス事業	175,096	7.4
合 計	1,151,889	△4.1